

奈良介護大賞（介護サービス従事者部門）

医療法人 厚生会 在宅事業部

○ 地域の中で人が集まる場を提供しようと、介護保険の制度外で、平成19年から月1回、デイサービス利用者に限らず、地域の誰でも参加できる「生き生き教室」を実施。「よく噛んで食べることの大切さ」「指のパワーで老化予防」など、健康、介護予防、栄養をテーマに開催した。

○ また、不定期に、自治会館等で「生き生き祭り」を開催。健康・介護予防の講演会や、移動足湯、認知症の方の視覚を体験できる体験コーナー、ゲームを通して介護予防を体験するコーナーなど、地域の誰でも参加できるイベントを開催。

○ 現在は、斑鳩町と共同で「生き生き倶楽部」を毎週火曜日に実施。認知症予防に公文学習療法を取り入れたり、医療、運動、栄養などをテーマに「大人の学校」をイメージした活動を行っている。

○ 家にとじこもりがちな高齢者を地域での活動に誘導し、人々が交流する「元気な生き生きした地域づくり」を目指している。



（第1回 生き生き教室）

あたたか介護賞（介護サービス従事者部門）

受賞者

活動

デイサービス発志院 あいあいの郷

デイサービス利用者への無料歯科検診や月1回のフットケアを行い、生活の質を高めるほか、サマーフェスタを実施してこどもと高齢者のふれあいの場を作っておられる

奈良市西部エリアネットワーク会

平成19年から、富雄・登美ヶ丘・二名（にみょう）の三つの地域包括支援センターが協力して、介護支援専門員や事業所のネットワークを作り、介護・福祉職の質の向上をめざして、民生委員や警察との交流会、講師を招いての研修会などの活動をしておられる

ヒューマンヘリテージ株式会社

介護タクシーを利用した、旅行・観光サービス事業や、高齢者向けの「送迎付き」「介護サポート付き」カルチャーセンターを開設するなど、高齢化が進む中で、介護保険ではカバーされない新たな取り組みを実践されている

支え合いの地域をつくるために 奈良介護大賞募集



ご存じですか？ 11月11日は「介護の日」

介護は誰にとっても身近なものとなってきました。つらいもの、苦勞の多いものとして語られがちな介護ですが、誰かの生命や生活、人生を支えることは、深い喜びや大きな学びをもたらすこともあります。そして、介護をする人を支えることによって、周囲の人もまた、身近な人を気にかけて、支える力を育んで行くことができます。

私たちは、このように介護をとおして地域全体に広がっていく支え合いの文化こそが、未来に残せる大きな財産だと考えています。

そこで、今年も、地域社会における支え合いの文化づくりにつながる介護の実践事例を募集し、優良事例を「なら介護の日 2011」の場で表彰することといたしました。

家庭・地域に応じた様々な介護のかたちがあると思います。自薦・他薦を問いませんので、昨年の受賞者の取り組み内容もご覧いただき、ぜひ多くの皆様からご応募いただきますようお願いしております。

啓発イベント

なら介護の日2011

2011年11月5日土

かしはら万葉ホール 入場無料

●奈良介護大賞の表彰 ●記念講演会
●親守唄・歌会 ●展示・相談コーナー

主催・奈良介護の日実行委員会

◆実行委員会構成団体

（財）介護労働安定センター奈良支所／（社）成年後見センター・リーガルサポート奈良支部／（財）たんぼの家／（特活）奈良NPOセンター／（社）奈良県介護福祉士会／奈良県言語聴覚士会／奈良県作業療法士会／（社）奈良県社会福祉協議会／（社）奈良県社会福祉士会／奈良県住民参加型在宅福祉連絡会／奈良県障害者福祉連合協議会／奈良県食サービスネットワーク／奈良県食生活改善推進員連絡協議会／奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会／奈良県老人福祉施設協議会／奈良県老人保健施設協議会／（社）奈良県理学療法士会／（財）奈良県労働者福祉協議会／（社）日本福祉用具供給協会奈良ブロック／（社）認知症の人と家族の会奈良県支部／ヒューマンヘリテージ（株）／奈良県

◆後援（予定）（特活）奈良県介護支援専門員協会／（社）奈良県看護協会／なら地域ケア研究会／奈良介護士会／橿原市／（社）橿原市社会福祉協議会／奈良新聞社／朝日新聞奈良総局／毎日新聞奈良支局／読売新聞奈良支局／産経新聞奈良支局／NHK奈良放送局／奈良テレビ放送株式会社／近鉄ケーブルネットワーク株式会社

◆協賛（予定）奈良信用金庫 大和信用金庫 中央信用金庫 日本フルハップ 青丹学園（財）森田記念福祉財団

奈良介護大賞 募集要項

家族・地域介護部門

- 募集対象
奈良県内で、高齢の人や病気の人、障害のある人の介護にかかわって、特色ある介護や活動をしている個人または団体
- 選考の基準
次のうち、いずれかの活動を継続して行っていることとします。
 - ①家族を介護している人や介護にかかわる団体のネットワークを作り出している、または、ネットワークの発展のための活動を行っている。
 - ②地域の理解や支援が広がる、地域と一体となった活動を行っている。
 - ③独自の介護の工夫を編み出したり、介護を支えるユニークな仕組みづくりを行っている。

介護サービス従事者部門

- 募集対象
奈良県内で、介護サービスにかかわって、事業活動を展開している個人または団体
- 選考の基準
次のうち、いずれかの活動を継続して行っていることとします。
 - ①利用者、介護者、支援者のネットワークづくりを行っている。
 - ②介護保険や障害者自立支援等のサービス外の分野で活動を行い、利用者の生活の質を高めている。
 - ③介護技術を工夫し、介護の質を高めている。
 - ④長きにわたり、介護サービスにかかわっている。

応募方法

所定の推薦書に必要事項を記入し、活動の内容がわかる資料(プロフィール、活動内容、エピソードなどがわかる資料等)とともに、下記の応募先へ郵便、ファックス、Eメールでお送りください。
自薦・他薦を問いません。

表彰・発表

2011年11月5日(土)「なら 介護の日 2011」で表彰式を行います。

応募締め切り

2011年10月14日(金) 必着

賞

- 奈良介護大賞
 - 家族・地域介護部門 1名(団体) 賞状・副賞
 - 介護サービス従事者部門 1名(団体) 賞状・副賞
- あたたか介護賞
 - 家族・地域介護部門 } 若干名(団体) 賞状・副賞
 - 介護サービス従事者部門 }

その他

昨年度に受賞された団体の多くが、森田記念福祉財団の助成金を受けておられます。

選考委員

委員長 津止 正敏(立命館大学産業社会学部教授)
委員 一柳 茂(奈良県社会福祉協議会常務理事)
山本 忠行(奈良県老人福祉施設協議会副会長)
面谷 宗良(奈良県社会福祉士会会長)
坂口 友良(奈良県介護福祉士会会長)
河野 益美(梅花女子大学看護学部看護学科准教授)
久保田幸治(奈良県健康福祉部次長)



昨年度の受賞者をご紹介します。

奈良介護大賞 (家族・地域介護部門)

大塔福祉ふれあいの会

- 高齢の親を世話する仲間4人が昭和62年から63年にかけて、県女性センター等でホームヘルパー講座を受講。奈良市まで毎回、往復に6時間をかけて講習を受け、ヘルパーの資格を取得。この知識と技能を人々に伝え、高齢化・過疎化が進む地域を支える仲間を増やそうと旧大塔村で平成元年に「大塔村福祉ふれあいの会」を立ち上げ。村の事業や県女性センターの講師派遣を活用するなどして平成16年には村内のヘルパー有資格者は70名を超えるまでになった。
- 高齢者が村で住み続けられるためには食の確保が大事と、平成6年から配食を開始。現在は、夏期を除く月1回の配食を行い、年9回は希望者約30人へ、年1回、4月には75歳以上の全員、約130人へお弁当を届ける。
- 平成9年、大塔村社会福祉協議会の設立と同時に毎週、火・木曜日に行われるデイサービスにボランティアとして参画し、社協の事業を支える。そのほか、健康診断受診のお知らせや受診会場への同行、健康診断の手伝いを行う。
- 近所の高齢者宅に夜、電気がつかないなど変わったことがあれば様子を見に行く、お弁当を届けた際に帰宅が遅いので畑へ迎えに行ったなどの見守りも会員が自然に行っている。
- 大塔村の住民の約5分の1、117人が会員。高齢者が希望する限り、大塔に住み続けられることを目指して、活動が続けている。



(会員によるお弁当づくり)

あたたか介護賞 (家族・地域介護部門)

受賞者	活動
城ヶ丘・福祉支援の会	「困ったときはお互い様」の気持ちで、軽度生活援助事業やサロン活動として「お困りごとへの応援隊」、「中高年者の元気な街づくり・ふれあい喫茶室」などを行ってられる
伏見南(ひばり)介護フォーラム	住民自ら介護予防活動の重要性を認識し、老人会、女性有志の会とのネットワークをつくり、おしゃべりサロンの開催、小学校・デイサービスなどでの活動や、愛の声かけ運動が続けておられる
友愛おべんとうグループ	昭和48年に施設へのボランティアからはじまり、在宅ボランティアへの需要が高まったことから平成4年にお弁当の配食を始め、毎週1回、高齢者にお弁当を届ける際には話相手をするなどの友愛活動を続けてこられた

ご応募・お問い合わせ先

奈良介護の日実行委員会事務局 奈良介護大賞担当

〒630-8501 奈良市登大路町30 奈良県 健康福祉部 地域福祉課内
TEL.0742-22-1101(内線2817) 0742-27-8503(ダイヤルイン)
FAX.0742-22-5709 e-mail fukushi@office.pref.nara.lg.jp